

8040 東京ソワール

2026年12月期 第2四半期決算



上期は減収減益、通期予想は据置

売上高

7,999

百万円

▲6.8%

営業利益

203

百万円

▲45.0%

経常利益

266

百万円

▲40.3%

中間純利益

202

百万円

▲49.9%

今回のポイント

① 上期：卸売低調で減収減益

売上高は前年同期比6.8%減の7,999百万円、営業利益は同45.0%減の203百万円。節約志向もあり主要販路の卸売事業が低調、販管費抑制でも減収を補えず。

② 通期予想：変更なし、大幅増益を計画

売上高は前期比0.5%増の16,200百万円、営業利益は同101.3%増の350百万円を計画。効率性重視で営業利益率を1.1%→2.2%へ。期末配当は45円を予定。

③ 小売シフト進展、EC売上が好調

小売事業の売上高は前年同期比7.0%増、売上構成比は30.4%へ上昇。EC売上は同17.4%増。新ブランドTOKYO SOIRの展開店舗を213店舗へ拡大。

事業概要

繊維製品（製造業）

婦人フォーマルウェアの製造・販売が主軸。全国の百貨店・量販店への卸売に加え、直営店・ECでの小売も展開。24年にキャナルジーンを子会社化し、ライフスタイル事業を開始した。

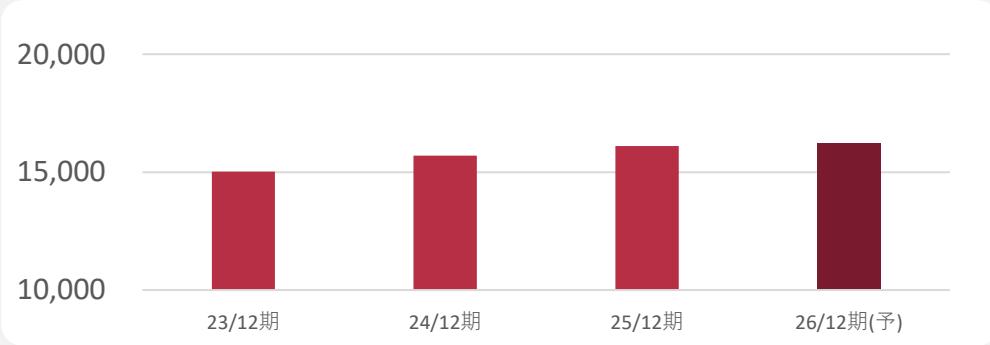
2Q累計業績 前年同期比較

単位：百万円

	25/12期 2Q	26/12期 2Q	増減率
売上高	8,585	7,999	▲ 6.8%
営業利益	369	203	▲ 45.0%
経常利益	446	266	▲ 40.3%
中間純利益	404	202	▲ 49.9%

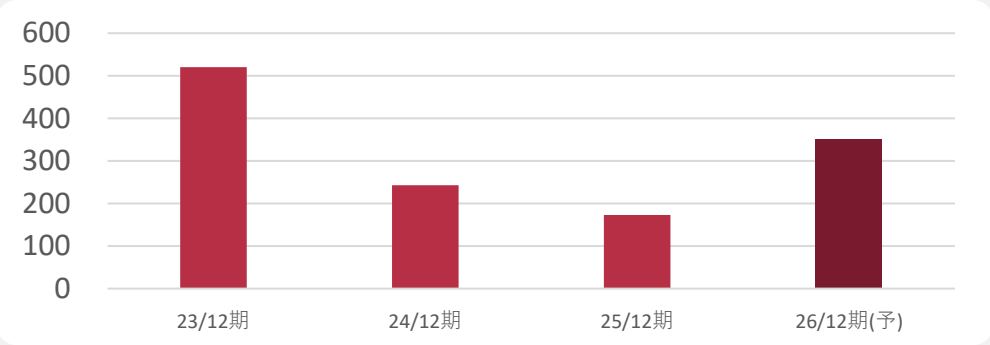
売上高 通期推移グラフ（直近4期）

単位：百万円



営業利益 通期推移グラフ（直近4期）

単位：百万円



通期予想に対する進捗率

単位：百万円

	2Q実績	通期予想	進捗率	通期前期比
売上高	7,999	16,200	49.4%	+0.5%
営業利益	203	350	58.0%	+101.3%
経常利益	266	450	59.2%	+52.2%
純利益	202	350	58.0%	+48.0%

[詳細はこちら](#)

小泉純一社長からのメッセージ

Q：中期経営計画の進捗と今後の取り組み

中期経営計画の折り返しとなる2026年12月期を「加速フェーズ」と位置づけ、これまでの成果を土台に収益構造の再整備を進めています。

ブラックフォーマル市場は厳しい環境が続く一方、カラーフォーマルや子会社CANAL JEANは堅調に推移しています。今後の成長では小売事業、特にECと直営店の拡大を重視します。ECでは限定コラボ商品や小柄な方向けの商品など、店頭では取り込みにくい需要を開拓しています。

また、ブライダルや「お受験」、学校行事など多様な着用シーンに応じたフォーマル需要をきめ細かく掘り起こしていきます。

Q：株主・投資家へのメッセージ

フォーマルは、相手への想いを形として伝え、マナーを通じて参加者に安心感をもたらすものと捉えています。社会やコミュニケーションのあり方が変化する中でも、リーディングカンパニーとして新たな需要を着実に取り込み、売上・利益の成長を追求します。

あわせて株主還元をはじめとする施策を通じて企業価値を高め、資本市場からの評価向上にも取り組んでいきます。

[詳細はこちら](#)